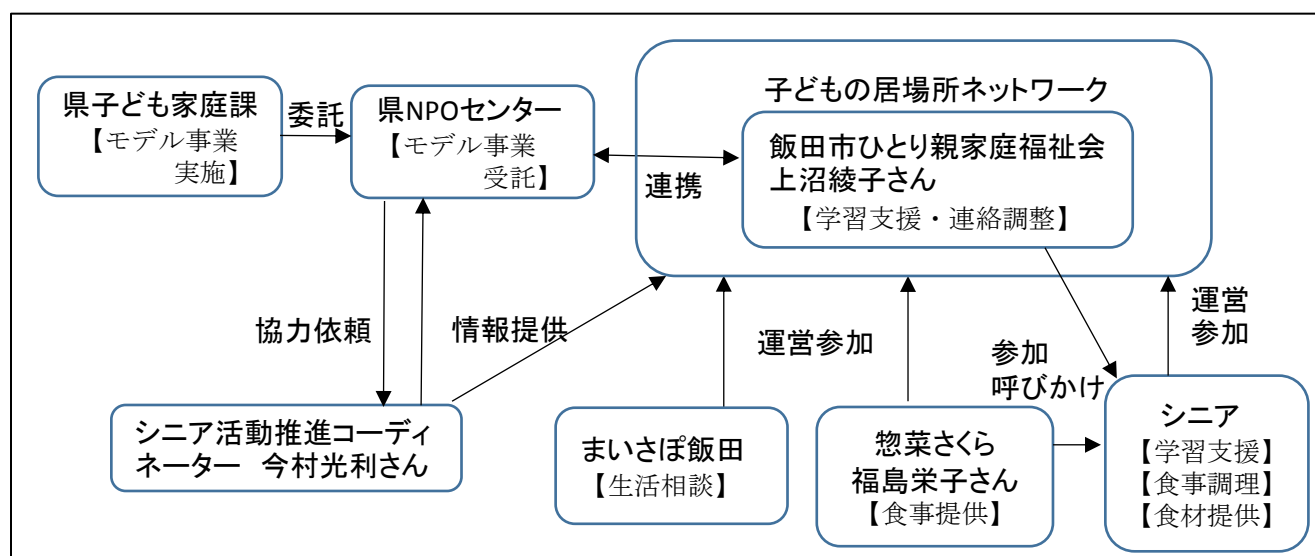


## テーマ②: 信州こどもカフェへのシニアの参加支援の取組

取組概要	帰宅後に子どもだけで過ごすことが多く、食事を家族と一緒に食べるのが少ない子どもに対して、地域の大人と子どもたちとの「あたたかなつながり」のなかで、困難を乗り越えて自立する力をつけてもらうため、「学習支援」、「食事提供」、「悩み相談」等の役割を持ち、家庭機能を補完する信州こどもカフェ「かふえじゅく」を、飯田市松尾地区に開設した。
発表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>飯田市ひとり親家庭福祉会 母子部長 上沼綾子さん</li> <li>惣菜さくら 福島栄子さん</li> <li>シニア活動推進コーディネーター 今村光利さん</li> </ul>



### 1 取組の背景

- 地域に家庭の事情により、学習に支障をきたしている子ども達が存在。
- ひとり親家庭福祉会が、学習支援活動を実施。(平成27年度より)
- 平成28年度、県(子ども家庭課)がモデル事業実施。  
県内でのモデル事例の創出を目指す。



- ・ ひとり親家庭福祉会の取組を活かして、モデル事例にできないか。

### 2 取組を進める上での課題・対応

- 食事支援・生活相談の担い手の確保 ⇒ 惣菜さくら  
(シニアの就労・まいさぼとの連携実績)
- 運営主体は誰が行うか ⇒ ひとり親家庭福祉会を中心に(窓口の設置)
- 開催地 地元の理解が必要 ⇒ 地元公民館との連携

### 3 取組の経過

- H28年 4月 県NPOセンターから長寿社会開発センターに協力依頼
- H28年 5月 子どもの居場所づくり情報交換会(出席17団体21名)
- H28年 7月 飯田子どもの居場所ネットワーク会議①(出席19団体25名)
- H28年 7月 飯田子どもの居場所ネットワーク会議②(出席18名)
- H28年 8月 飯田市松尾地区「かふえじゅく」オープン
- H28年11月 飯田保健所による食品衛生講習会



### 4 成果

- 学習支援、食事提供、相談がそろった県的なモデル事業として実施
  - ・ 受け入れ児童 41人(登録数)
- 地域で子育てをする取組の実施
  - ・ 松尾公民館の活動との連携、体験入塾の実施
  - ・ 開催地松尾にある飯田女子短期大学との協力(小学生の学習支援)
- シニアの社会参加
  - ・ 学習支援等参加シニア 20人(登録数)
  - ・ 教員OBの参加(CSコーディネーターも参加)
  - ・ 「総菜さくら」福島さんを中心としたシニアの調理スタッフ

### 5 今後の課題

- 県モデル事業終了後の運営費をどう確保するか  
(同様の事業をおこなっている他団体との関係)
- 継続して運営していくための人材をどう確保するか  
(学習支援ボランティア、専任の事務担当)
- 障がい、不登校など問題を抱え、個別対応が必要な児童をどう支援するか